

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画又は地域公共交通計画に基づく事業)

令和6年12月25日

協議会名: 四万十市地域公共交通活性化協議会

評価対象事業名: 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
高知西南交通株式会社	後川エリア	<p><前回の評価結果の概要></p> <p>①後川エリアは、利用者数・収支率の増加が確認された。</p> <p>②西富山・蕨岡エリアは、目標未達成で終了。 新たな利用者の獲得を目指す利便性向上策、周知を行うこと。 地域のニーズ、利用状況と整合性について継続的に検証を続け、必要と判断される場合はサービス内容の検討を行うこと。</p> <p>③今後改定予定の地域公共交通計画について、住民ニーズを把握し、利用者数、収支、公的負担額等の定量的な目標を設定すること。</p> <p><評価結果の反映状況></p>	<p>事業が計画に位置づけられたとおりに実施されていない点があった</p> <p>・計画年度内、各エリアの実績運行回数について後川エリアは1,062回の計画に対し523.5回の運行割合が50.04%となった。西富山・蕨岡エリアは531回の計画に対し149回の運行割合が29.19%となった。 西富山・蕨岡エリアについては、運行割合が30%を下回る結果となり国庫補助対象外となったため、計画運行回数の設定方法や運行形態の見直しを検討する必要がある。</p> <p>・利用者数については、後川エリアは1,986人となり、前年より138人の利用者数の増加となったが、西富山・蕨岡エリアは370人となり、前年より159人の減となり実績運行回数へも影響が出たことが予想される。 令和7年度事業より運行曜日を変更しているため、これまで利用してこなかった人への利用促進、啓発活動としたい。</p>	<p>【目標達成率】122.21% (目標: 1,625人/年、5.5人/日) 【実績】1,986人/年、6.7人/日 (対前年比: 118.07%) (対前々年比: 143.60%)</p> <p>【収支率】3.6% (前年比: +0.2%) (前々年比: +1.1%)</p> <p>当該エリアは、利用者数も安定しており、現在の運行形態と住民ニーズの整合性が取れているように思う。</p>	<p>・これまでバスを利用しなかった人に利用してもらうために、広報誌に利用方法等の情報を定期的に掲載することで、認知度の向上を図る。</p> <p>・アンケート結果を分析し、利用状況に応じた適切な運行形態を検討する。</p>
高知西南交通株式会社	西富山・蕨岡エリア	<p>①後川エリアは昨年度に続き利用者数、収支率が増加となった。 ・利用者数: 1,986人 (前年比138人増) ・収支率: 3.6% (前年比0.2%増)</p> <p>②西富山・蕨岡エリアは計画運行回数に対する実績運行回数の割合が30%を下回る結果となった。令和7年度事業より運行回数増に向け運行曜日の変更を行った。</p> <p>③四万十市地域公共交通計画の策定にあたり、令和6年9月に住民アンケート調査及び利用者ニーズ調査を実施している。 利用者数、収支、公的負担等の定量的な目標の設定については、平成30年度から令和5年度の6ヶ年の実績を参考に定量的な目標を設定することとしている。</p>	B	<p>【目標達成率】62.81% (目標: 589人/年、2.0人/日) 【実績】370人/年、1.2人/日 (対前年比: 69.94%) (対前々年比: 69.94%)</p> <p>【収支率】1.30% (前年比: -0.5%) (前々年比: -0.4%)</p> <p>利用者数は前年度から減少した結果となった。利用者が固定されている当該エリアにおいて、利用者数の減少は実績運行回数に直結する。 運行曜日の見直しを実施しているため、これまで利用してこなかった人への利用促進、啓発活動となることを期待したい。</p>	<p>・これまでバスを利用しなかった人に利用してもらうために、広報誌に利用方法等の情報を定期的に掲載することで、認知度の向上を図る。</p> <p>・アンケート結果を分析し、利用状況に応じた適切な運行形態を検討する。</p>